

第3次島田市男女共同参画行動計画(令和元～5年度)実施計画書

別冊 1

基本情報(計画での位置づけ)

区分	I	あらゆる分野における女性の活躍推進
基本的施策	1	ワーク・ライフ・バランスの推進

事業シート(事業番号)

項目	1	多様な働き方を選択できる環境の整備	目標達成のための取組	交流会やセミナーの開催回数や参加者数は一定数確保できており、今後はセミナー満足度を高めるため、利用者のニーズを把握し、充実した内容のセミナーを企画・開催する。	担当課
内容	産業支援センター「おひさボ」で、事業所や起業希望者などの相談を受けるとともに、セミナーや交流会を開催し、多様な働き方に関する情報提供を行う。				商工課
事業	1	交流会やセミナーの開催			商工課

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価																		
		平成30年度(2018) ※現状(値)		令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)						
指標		セミナー満足度(%)		セミナー満足度(%)		セミナー満足度(%)		セミナー満足度(%)		セミナー満足度(%)		セミナー満足度(%)								
計画(年度ごとの目標等)		70%		65%		65%		65%		65%		65%		セミナー満足度 65%						
実績(値)	セミナー満足度 61%	61%		60%		78%		57%		55%		55%								
達成率		87.1		92.5		120.5		87.7		84.6		84.6								
評価		A		A		A		A		A		A								
		87.1		A		92.5		A		120.5		A			87.7		A		84.6	
5か年の総合評価 ※評価の平均													94.5	A						

5か年の総合評価に対する総括

・セミナーは、前年度のアンケート結果などを参考に、参加者のニーズに合ったセミナーを企画するように努めた。  
 ・市産業支援センター主催の「女性のための異業種交流会」は、託児室を手配して子育て中の女性の参加がしやすいように設定し、当交流会では、「とても良かった」の回答が目標値を達成した。  
 R1(①84%、②83%)、R2・R3 開催なし、R4(75%)、R5(85%)  
 ・満足度については、「とても良かった」という回答数を目標数に設定している。「まあ良かった」という回答も多いため、ニーズに沿っていなかったわけではないと考えるが、セミナーの内容によっては「少し難しい」という回答もあったり、目標数値に達することができなかった。今後は講座の内容の難易度がわかるように募集方法を改善して満足度を向上させていきたい。

事業シート(事業番号)

項目	1	多様な働き方を選択できる環境の整備	目標達成のための取組	島田ICTコンソーシアム(市が事務局を務める官民連携組織)の取組・安心して働くことができる「島田型クラウドソーシング」を構築、運営していく。 ※島田型クラウドソーシング: 運営者、受注者、発注者それぞれが地域密着で働く島田ならではのクラウドソーシング ・子育て中の女性やアクティブシニアをはじめとし、クラウドソーシングで働くワーカーを支援する。 ・市内企業におけるクラウドソーシングへの業務発注を促進する。	担当課
内容	個人の希望やライフスタイルに応じて、時間や場所に捉われないことのできる「クラウドソーシング」を推進する。				戦略推進課 商工課
事業	2	クラウドソーシングの推進			戦略推進課 商工課

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	①	積み上げ評価																		
		平成30年度(2018) ※現状(値)		令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)						
指標		登録者数		登録者数		登録者数		登録者数		登録者数		登録者数								
計画(年度ごとの目標等)		100		125		150		175		200		200		クラウドソーシングワーカー登録者数(人) 200						
実績(値)	クラウドソーシングワーカー登録者数(人)	72		94		112		121		126		126								
達成率		72.0		75.2		74.7		69.1		63.0		63.0								
評価		B+		B+		B+		B+		B+		B+								
	43	72.0		B+		75.2		B+		74.7		B+			69.1		B+		63.0	
5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率													63.0	B+						

5か年の総合評価に対する総括

目標値には届かなかったが、年々クラウドソーシングワーカーの登録者数は増加しており、クラウドソーシングという働き方が浸透してきたこと及びその環境が整ってきたことが成果につながったものと考えられる。DXという時流に乗り、受注する仕事の幅を広げていくとともに、引き続き多様な働き方の提案・周知活動に努めていく。

事業シート(事業番号)

項目	2	「男女共同参画社会づくり宣言」事業所の普及促進	目標達成のための取組	啓発情報紙/パレットや市ホームページなどで宣言事業所の紹介を行う。	担当課
内容	「男女共同参画社会づくり宣言」(県事業)についての周知を図り、事業所の自主的な取組を促進し、登録数を増やす。				市民協働課
事業	3	事業所等の「男女共同参画社会づくり宣言」の促進			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	①	積み上げ評価													
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		宣言事業所数		宣言事業所数		宣言事業所数		宣言事業所数		宣言事業所数		宣言事業所数			
計画(年度ごとの目標等)	県が行う「男女共同参画社会づくり宣言事業所」の数	125		127		128		129		130				県が行う「男女共同参画社会づくり宣言事業所」の数  130	
実績(値)		125		128		128		128		128					
達成率		100.0		100.8		100.0		99.2		98.5					
評価	124	A		A		A		A		A					
		100.0	A	100.8	A	100.0	A	99.2	A	98.5	A				
5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率												98.5	A		

5か年の総合評価に対する総括

令和6年3月末現在で、市内の「男女共同参画社会づくり宣言事業所」数は128となり、概ね目標値を達成できた。しまだばれっとにおいては、宣言事業所を紹介しており、宣言事業所の紹介数(累計)は、18件となった。

事業シート(事業番号)

項目	3	市職員におけるワーク・ライフ・バランスの促進	目標達成のための取組	定められた定時退庁日に時間外勤務を命令する場合には人事課長の確認を得るものとし、時間外勤務の累積時間が一定以上になった場合には、その理由と対策等について報告を求めている。	担当課
内容	定時退庁日の徹底や適性な人事配置による残業時間の削減により職員のワーク・ライフ・バランスの実現を図る。				人事課
事業	4	効率的な業務遂行と毎週水曜日は定時退庁日等の徹底			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	③	削減指標評価													
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		時間外勤務時間		時間外勤務時間		時間外勤務時間		時間外勤務時間		時間外勤務時間		時間外勤務時間			
計画(年度ごとの目標等)	時間外勤務時間(時間)	55,000		54,800		54,600		54,400		54,200				時間外勤務時間(時間) 54,200	
実績(値)		58,122		57,069		52,062		51,462		69,587					
達成率		94.3		95.9		104.6		105.4		72.0					
評価	55,213	A		A		A		A		B+					
		94.3	A	95.9	A	104.6	A	105.4	A	72.0	B+				
5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率												72.0	B+		

5か年の総合評価に対する総括

令和元年度から令和4年度にかけて、時間外勤務時間は減少してきていたが、令和5年度は新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の事業再開によるものや、庁舎移転等に係る時間外勤務が増加しており、目標達成とはならなかった。今後もノー残業デーの徹底や時間外勤務の適正な管理について、各所属長宛てに通知をし周知を図るとともに、庶務管理システムのお知らせ欄に表示するなど、定時退庁を意識させていく。

事業シート(事業番号)

項目	4	子育て支援事業の充実										目標達成のための取組	子育て世代包括支援センターの周知、利用の推進	担当課			
内容	妊娠・出産・子育て期を切れ目なく支援する体制を強化していく。										健康づくり課						
事業	5	子育て世代包括支援センターの運営															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	①	積み上げ評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023) ※目標(値)			
指標		相談件数(件)		相談件数(件)		相談件数(件)		相談件数(件)		相談件数(件)		相談件数(件)					
計画(年度ごとの目標等)	子育て世代包括支援センターの相談件数	500		950		1000		1050		1050		1050		子育て世代包括支援センターの相談件数			
実績(値)		905		1554		939		1041		1199		1199					
達成率		181.0		163.6		93.9		99.1		114.2		114.2					
評価		A		A		A		A		A		A			1050		
	360	181.0		A		163.6		A		93.9		A		99.1	A	114.2	A
5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率														114.2	A		
5か年の総合評価に対する総括																	
令和元年度より島田市版ネウボラを開始し、担当保健師という相談窓口を広く周知してきた。また、しまいく+でのオンライン相談も令和3年3月から開始し、相談しやすい環境が整えられ、目標も達成された。																	

事業シート(事業番号)

項目	4	子育て支援事業の充実										目標達成のための取組	島田市子育て応援サイト等で情報を発信するとともに、母子保健部門と連携を図り、安心して子育てができるよう切れ目ない支援を行う。	担当課								
内容	地域子育て支援センター、育児サポーター派遣事業など、多様なニーズに対応した子育て支援事業を推進する。										子育て応援課											
事業	6	地域子育て支援センター事業 子育てコンシェルジュ事業																				
■実績(値)・年度ごとの評価																						
評価モデル	①	積み上げ評価																				
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023) ※目標(値)								
指標		マイ支援センター登録者利用数(人)	相談件数(件)	マイ支援センター登録者利用数(人)	相談件数(件)	マイ支援センター登録者利用数(人)	相談件数(件)	マイ支援センター登録者利用数(人)	相談件数(件)	マイ支援センター登録者利用数(人)	相談件数(件)	マイ支援センター登録者利用数(人)	相談件数(件)									
計画(年度ごとの目標等)	・マイ支援センター登録者利用数(累計) 4,820人 ・相談件数 2,813件 ・実施園 10園	4,500		2,560		4,600		2,595		4,750		2,630		4,900		2,665		5,000		2,700		・マイ支援センター登録者利用数(累計) 5,000人 ・相談件数 2,700件 ・実施園 9園
実績(値)		5,958		2,589		4,541		1,855		4,611		2,211		4,966		2,079		5,937		2,449		
達成率		132.4		101.1		98.7		71.5		97.1		84.1		101.3		78.0		118.7		90.7		
評価		A		A		A		B+		A		A		A		B+		A		A		
		116.8		A		85.1		A		90.6		A		89.7		A		104.7		A		
5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率														118.7	A							
5か年の総合評価に対する総括																						
おおむね達成することができた。新型コロナウイルスの影響による利用者減が回復し、令和元年度と同水準になったため、目標値を上回った。子育て支援のニーズが高まっていることも考えられる。																						

事業シート(事業番号)

項目	4	子育て支援事業の充実	目標達成のための取組	島田市子育て応援サイト等で情報を発信するとともに、母子保健部門と連携を図り、安心して子育てができるよう切れ目ない支援を行う。	担当課
内容	地域子育て支援センター、育児サポーター派遣事業など、多様なニーズに対応した子育て支援事業を推進する。				子育て応援課
事業	7	育児サポーター派遣事業			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	積み上げ評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023) ※目標(値)		
指標		実利用者(人)	相談件数(件)		実利用者(人)	相談件数(件)		実利用者(人)	相談件数(件)		実利用者(人)	相談件数(件)		実利用者(人)	相談件数(件)	
計画(年度ごとの目標等)	実利用者数 159人 相談件数 1148件	163	1170		165	1195		170	1220		175	1240		180		
実績(値)		128	810		92	710		124	841		111	770		140		
達成率		78.5	69.2		55.8	59.4		72.9	68.9		63.4	62.1		77.8		
評価		B+	B+		B	B		B+	B+		B+	B+		B+		
														5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率	77.8	B+

5か年の総合評価に対する総括

実利用者数と相談件数について、おおむね目標値に近づいてきている。実利用者数は目標値に至らなかったが、訪問数自体は令和5年度で1,164件あり、継続して利用している方が多くなっている。事業のニーズが高まっている中で、増加する訪問に対応しているが、当日キャンセルなども多く、実利用者を増やすことには苦慮している。

事業シート(事業番号)

項目	4	子育て支援事業の充実	目標達成のための取組	市内すべての小学校でペアレントサポーターによる親学講座を実施し、また、すべての家庭教育学級でペアレントサポーターによるつながるシートの学習会を行う。	担当課
内容	ペアレントサポーターが市内小学校に出向き、保護者に対する講座を行う。				社会教育課
事業	8	家庭教育支援事業			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023) ※目標(値)		
指標		親学開講数(校)	実施学級数(学級)		親学開講数(校)	実施学級数(学級)		親学開講数(校)	実施学級数(学級)		親学開講数(校)	実施学級数(学級)		親学開講数(校)	実施学級数(学級)	
計画(年度ごとの目標等)	親学講座の実施 つながるシートの学習実施 18校	18	18		18	18		17	17		17	17		17	17	
実績(値)		18	18		11	8		10	14		17	16		13	16	
達成率		100.0	100.0		61.1	44.4		58.8	82.4		100.0	94.1		76.5	94.1	
評価		A	A		B+	B		B	A		A	A		B+	A	
														5か年の総合評価 ※評価の平均	81.1	A

5か年の総合評価に対する総括

親学講座・つながるシートともに、令和2～4年度についてはコロナ感染拡大の影響で開催数の減があった。5年度は学級閉鎖によりつながるシートの学習を中止した1学級を除き、全校実施できている。これらの講座は、通常の講座等と異なり講師が出向いていくため、すべての保護者が参加しやすい場となっている。

事業シート(事業番号)

項目	5	保育事業の充実										目標達成のための取組	待機児童をなくすための施策は継続し、保育の質を高める方法として、病児保育所を1箇所設置し、児童の病気期間中に仕事を休まなければならない親の負担を軽減する支援を行う。	担当課	
内容	延長保育、一時保育、病後児保育、放課後児童クラブ等、働く親を支援する保育サービスを推進する。										保育支援課				
事業	9	保育事業(量と質の確保) 児童健全育成事業													
■実績(値)・年度ごとの評価															
評価モデル	②	年度単位評価													
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)			
指標		待機児童数の割合(%)	病児保育施設数(箇所)	待機児童数の割合(%)	病児保育施設数(箇所)	待機児童数の割合(%)	病児保育施設数(箇所)	待機児童数の割合(%)	病児保育施設数(箇所)	待機児童数の割合(%)	病児保育施設数(箇所)	待機児童数の割合(%)	病児保育施設数(箇所)		
計画(年度ごとの目標等)		0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1		
実績(値)	保育所等の利用申込者数に対する待機児童数の割合(4月1日現在) 0%	0.68%	0	0.14%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1		
達成率	病児保育施設数 0箇所	99.32	0.0	89.47	100.0	100.00	100.0	100.00	100.0	100.00	100.0	100.00	100.0		
評価		A	C	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A		
		49.7	B	94.7	A	100.0	A	100.0	A	100.0	A				
												5か年の総合評価 ※評価の平均		88.9	A
5か年の総合評価に対する総括															
待機児童数の割合は令和3年度以降0%となり、病児保育施設は令和2年度に1箇所開設できたため、親の負担を軽減する支援を進めることができた。															

事業シート(事業番号)

項目	5	保育事業の充実										目標達成のための取組	利用児童数の動向に合わせ、地域の社会福祉法人等の民間活用を含めた整備を進めるとともに、事業目的に基づき必要度の高い児童の受け入れを優先する。また、不足する指導員は、ハローワークや民間求人誌等を活用するほか、近隣の高校、大学への求人募集を強化する。	担当課	
内容	延長保育、一時保育、病後児保育、放課後児童クラブ等、働く親を支援する保育サービスを推進する。										子育て応援課				
事業	10	放課後児童健全育成事業													
■実績(値)・年度ごとの評価															
評価モデル	③	削減指標評価													
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)			
指標		待機児童割合		待機児童割合		待機児童割合		待機児童割合		待機児童割合		待機児童割合			
計画(年度ごとの目標等)	利用申込者数 876人 待機児童数 7人	0%		0%		0%		0%		0%		0%			
実績(値)	待機児童割合 0.8%	8.8%		7%		10%		6%		8%					
達成率		91.2		93.1		90.4		94.0		92.0					
評価		A		A		A		A		A					
	0.8%	91.2	A	93.1	A	90.4	A	94.0	A	92.0	A				
												5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率		92.0	A
5か年の総合評価に対する総括															
待機児童0の目標には届かなかったが、目標値におおむね近い達成率となった。但し、平成30年度に比べて令和5年度にかけて対象児童数は減少しているが申込率が上昇しつづけているため、申込者数が30%増加している。そのため、計画的に整備をすすめ総数ではみだしているが各学校区単位では待機児童が発生した。今後の需要予測では令和8年度をピークに申込者数が減少していくことが予想されているため、次期計画時には目標達成予定。															

事業シート(事業番号)

項目	6	育児休業制度の周知、利用の啓発										目標達成のための取組	啓発情報紙/バレットや市ホームページ、広報しまだ等で育児休業制度利用の啓発を行う。	担当課
内容	情報紙等で制度の周知を図る。										市民協働課			
事業	11	育児休業制度の周知、利用の啓発												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	②	年度単位評価												
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)		
指標		情報紙や広報しまだへの記事掲載	ホームページ等での情報提供											
計画(年度ごとの目標等)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
実績(値)		1	0	0	1	0	1	0	1	1	1			
達成率	啓発情報紙バレットへの記事掲載 年1回	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0			
評価		A	C	C	A	C	A	C	A	A	A			
		50.0	B	50.0	B	50.0	B	50.0	B	100.0	A			
											5か年の総合評価 ※評価の平均	60.0	B+	
5か年の総合評価に対する総括														
ホームページ等で育児休業制度(育児・介護休業法)についての記事を掲載し、目標は概ね達成できた。また、令和5年度においては、市内の企業を対象に「男性の育児推進で働きやすい職場へ」という演題で講座を開催し、男性の育児休業制度の周知、利用の啓発を図った。														

事業シート(事業番号)

項目	7	市職員における育児休業制度の利用促進										目標達成のための取組	男性職員が育児休暇取得しやすい職場づくりをすすめる。	担当課
内容	市が率先して男女とも育児休業制度を活用しやすい環境整備を行う。										人事課			
事業	12	市役所内への育児休業制度等の周知・利用促進												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	①	積み上げ評価												
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)		
指標		男性の育児休業取得者		男性の育児休業取得者		男性の育児休業取得者		男性の育児休業取得者		男性の育児休業取得者				
計画(年度ごとの目標等)	男性の育児休業取得者数(5年間の延べ人数)	1		2		3		4		5				
実績(値)		2		3		5		11		12				
達成率		200.0		150.0		166.7		275.0		240.0				
評価		A		A		A		A		A				
		200.0	A	150.0	A	166.7	A	275.0	A	240.0	A			
											5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率	240.0	A	
5か年の総合評価に対する総括														
男性の育児休業に関する情報(制度や手当金の)積極的な周知等により、目標値を上回った。														

事業シート(事業番号)

項目	8	家庭生活への男性の参画促進に関する啓発							目標達成のための取組	ワーク・ライフ・バランスをテーマとして、啓発情報紙/パレットや市ホームページ、広報しまだでの啓発活動や講座等を開催する。				担当課		
内容	情報紙、講座等で家庭生活での役割分担の見直しにつながる情報提供や啓発を行う。											市民協働課				
事業	13	家庭生活への男性の参画促進に関する啓発														
■実績(値)・年度ごとの評価																
評価モデル	②	年度単位評価														
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		広報媒体への記事掲載数	講座参加者数		広報媒体への記事掲載数	講座参加者数		広報媒体への記事掲載数	講座参加者数		広報媒体への記事掲載数	講座参加者数		広報媒体への記事掲載数	講座参加者数	
計画(年度ごとの目標等)		1	50		1	50		1	50		1	50		1	50	
実績(値)	男性の家庭生活への参画促進についての記事掲載回数	1	29		1	18		1	18		0	48		1	13	
達成率	ワークライフバランスに関する講座参加者27人	100.0	58.0		100.0	36.0		100.0	36.0		0.0	96.0		100.0	26.0	
評価		A	B		A	B-		A	B-		C	A		A	B-	
		79.0	B+		68.0	B+		68.0	B+		48.0	B		63.0	B+	
														5か年の総合評価 ※評価の平均	65.2	B+
5か年の総合評価に対する総括																
毎年、男女共同参画に関する講座や座談会などの開催は行っているが、講座の参加者数は目標に達していないため、今後は講座の周知方法などを工夫していく。令和5年度においては、市内の企業を対象に「男性の育児推進で働きやすい職場へ」という演題で講座を開催し、男性の育児休業制度の周知、利用の啓発を図った。																

事業シート(事業番号)

項目	9	男性が参加しやすい講座等の開催							目標達成のための取組	男性を対象とした料理教室やおやじの井戸端講座などを開催する。開催日について、男性でも参加しやすいよう配慮する。				担当課		
内容	男性の家事、育児、介護への参画を支援するため、参加しやすい講座等を開催する。											社会教育課				
事業	14	男の料理教室等の開催														
■実績(値)・年度ごとの評価																
評価モデル	②	年度単位評価														
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		開催箇所(箇所)	講座開催回数(回)	講座参加者数(人)	開催箇所(箇所)	講座開催回数(回)	講座参加者数(人)	開催箇所(箇所)	講座開催回数(回)	講座参加者数(人)	開催箇所(箇所)	講座開催回数(回)	講座参加者数(人)	開催箇所(箇所)	講座開催回数(回)	講座参加者数(人)
計画(年度ごとの目標等)	・入門！男の料理教室(楽習センター)開催14回、参加延べ人数260人	8	50	700	8	50	700	8	50	700	8	50	700	8	50	700
実績(値)	・男の料理教室開催施設6施設、開催回数延29回、参加者延434人	5	42	605	2	15	225	5	49	706	6	51	604	5	53	726
達成率	・おやじの井戸端講座開催施設1施設、開催回数延2回、参加者延24人	62.5	84.0	86.4	25.0	30.0	32.1	62.5	98.0	100.9	75.0	102.0	86.3	62.5	106.0	103.7
評価		B+	A	A	B-	B-	B-	B+	A	A	B+	A	A	B+	A	A
		77.6	B+		29.0	B-		87.1	A		87.8	A		90.7	A	
														5か年の総合評価 ※評価の平均	74.5	B+
5か年の総合評価に対する総括																
令和5年度実績 ・入門！男の料理教室(楽習センター)開催18回、参加延べ人数251人 ・男の料理教室(六合公民館・初倉公民館・金谷公民館・大津農村環境改善センター)開催回数延26回、参加者延348人 ・おやじの井戸端講座(金谷公民館)開催施設1施設、開催回数延9回、参加者延127人 この5年間で講座の開催回数及び講座参加者数ともに伸びており、家事・育児等への意識の変化の表れが回数・参加者の増加につながった。																

事業シート(事業番号)

項目	9	男性が参加しやすい講座等の開催										目標達成のための取組	父親の参加しやすい土日及び平日夜間に講座を開催する。また、父親を主な対象とした講座を開催する。また、広報などで男性の参加呼びかけを行う。	担当課 社会教育課
内容	男性の家事、育児、介護への参画を支援するため、参加しやすい講座等を開催する。													
事業	15	父親も参加しやすい子育て講座の開催												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	②	年度単位評価												
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)		
指標		講座開催回数(回)	男性参加率(%)	講座開催回数(回)	男性参加率(%)	講座開催回数(回)	男性参加率(%)	講座開催回数(回)	男性参加率(%)	講座開催回数(回)	男性参加率(%)	講座開催回数(回)	男性参加率(%)	
計画(年度ごとの目標等)	・思春期の子をもつ親の講座の開催 開催数1回、参加人数延べ33人、内、父親7人	5	20%	5	20%	5	20%	5	20%	5	20%	5	20%	
実績(値)	・幼児、児童をもつ親の単発講座(休日講座)の開催 参加人数55人、内、父親8人 ※親子ふれあい講座はH30年度中止となった。	5	19.5%	4	24%	4	29%	5	17%	5	22%	・男性が参加しやすい(土日・夜間)日時での講座開催回数 5回		
達成率		100.0	97.5	80.0	117.5	80.0	145.0	100.0	85.0	100.0	110.0	・男性参加率 20%以上		
評価		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A			
		98.8	A	98.8	A	112.5	A	92.5	A	105.0	A			
											5か年の総合評価 ※評価の平均		101.5	A
5か年の総合評価に対する総括														
講座の開催回数については、5年間で25回の計画に対し23回の開催実績があり、男性参加率については、各年20%の目標に対し5年間の平均参加率は目標値を上回る22.3%となっており、父親も参加しやすい子育て講座としては成果があったと考える。														